

浜岡原子力発電所4号機 MOX燃料受取検査の実施について

平成 21 年 7 月 17 日

当社は、平成21年5月18日、4号機用のMOX燃料28体を浜岡原子力発電所に受け入れました。
 (平成21年5月18日、平成21年5月27日公表済み)

これまで当該燃料28体に対する受取検査^{※1}の準備を進めてきましたが、準備が整ったことから、本日、同検査のための作業を開始しました。今後、8月中旬まで、輸送容器毎、計3回に分けて検査していきます。

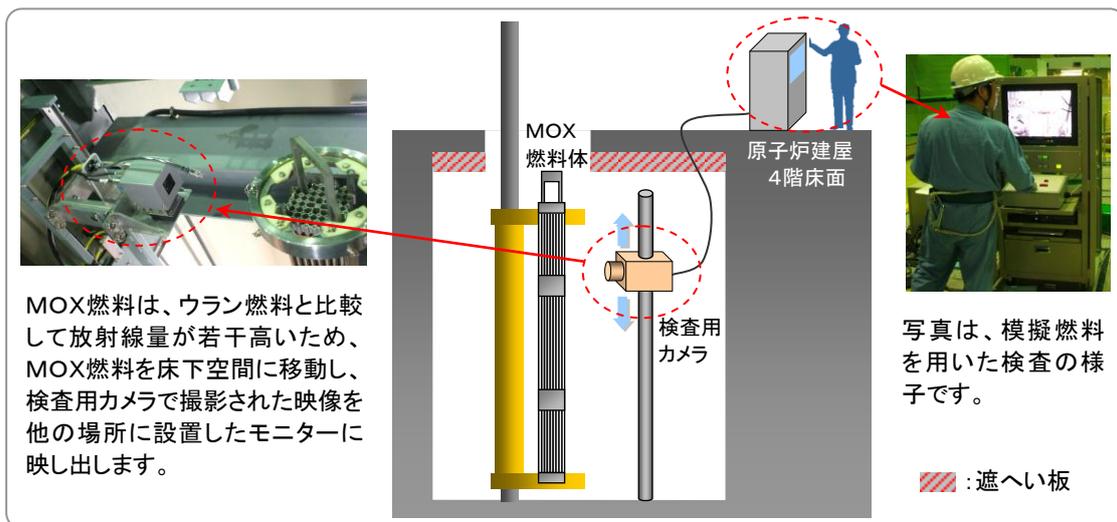
なお、検査スケジュール後段で、国による輸入燃料体検査^{※2}のうちの外観検査を受検する予定です。

1. 受取検査の概要

受取検査のための作業として、MOX燃料が収納されている輸送容器を、保管中のキャスク置場から検査場所である4号機の原子炉建屋4階(管理区域内)へ移動し、容器を開放します。

その後、受取検査として、輸送容器からMOX燃料を取り出して、専用の燃料検査装置にMOX燃料を載せ、遠隔操作により検査用カメラを上下に移動して、MOX燃料表面の目視検査を行い、損傷や変形がないことを確認します。

なお、検査が終了したMOX燃料は、同階にある燃料プールにて保管します。



2. 受取検査および輸入燃料体検査のスケジュール

	7月		8月		
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
受取検査のための作業 (輸送容器の移動および開放作業)	■	■	■		
受取検査 輸入燃料体検査		■ (4体)	■ (12体)	■ (12体)	■ 輸入燃料体検査(外観検査)

※1 受取検査は、当社が、社内の調達ルールに基づき、輸送に伴いMOX燃料に変形等がないことを外観検査等により確認します。

※2 輸入燃料体検査は、電気事業法第51条第3項に基づく検査であり、国により、当社の品質保証活動等に対する書類審査、燃料の外観検査等が行われます。

なお、外観検査では、当社の受取検査時のMOX燃料の映像を用いて、全てのMOX燃料について検査が行われます。

以上